平成 20 年 4 月 1 日
第 11 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

送水管の漏水を補修



接続部に補修材を充填。送水管と支持台の間の狭い部分に入り込んでの作業も行いました。

3月2日、「八方原の環境を守る会」では用水ポンプから開水路に水を送るパイプラインの補修を行いました。

パイプラインは堤防の斜面に沿って、配置されており長期間の漏水は堤防の強度などへの影響も考えられることから、補修の必要性が指摘されていました。

事前の調査で7カ所の継ぎ手部分に漏水があることが分かっておりましたので、その継ぎ手部分にシリコンシーラントを注入しました。

過去にも、モルタルセメントでの修理など何度も補修を行っていますが、時間の経過とともに手当が必要になってきていました。今回の補修は恒久的な修理ではありませんが、必要に応じて適宜作業が行えるように用具の使い方なども訓練しました。

水路清掃の積み込み作業が変わります

毎年5月から6月にかけて各地区で行っていた、一斉清掃。当地区では水路清掃（みぞしご）として5月下旬に行ってきました。

市では、この時に出る土砂や草などをゴミ収集のパッカー車やフォークリフトなどで積み込んでくれていました。しかし、不燃物中間処理施設の稼働や、衛生課の体制変更などでこれまでのような協力は得られないことになりました。



今年は指定された業者が地区に派遣されてきます。積み込み作業などは地区側が対応を考えなくてはならなくなりました。今年の「みぞしご」はより一層力仕事になりそうです。

平成20年度地区役員が決定


役員選考委員会を開催せずに済んだ今年の総会

3月9日、定例の地区総集会が八方原公民館で行われ、新年度の役員が決定しました。

従来から役員の選任について選考委員会を総会で設置し、協議の結果を発表するということが続いていました。しかし、ここ数年選考委員会方式でのトラブルなどもあり、選考に長時間が費やされたり指名の拒否などが相次いでいました。

今年度は現役員が後継指名を考えて事前協議に当たるなど、非常にスムースに人選が行われました。

区長から各種の報告がありました。主な点のひとつにはゴミ収集の変更があります。衛生部長から詳細の説明では、従来の5週間で一つのサイクルから全ての収集が月サイクルに変更になったこと、燃やせないゴミの収集が家電製品とそれ以外のものになったこと、事前の連絡をすれば大型のものは各家庭に収集に来ることなどです。具体的には配布される関連資料を良く読み、理解する必要があります。

八方原地区役員一覧表

区長	原田信義	☎972・7606
会計	石田義博	☎973・1592
公民館長	片山静市	☎972・7175
会計監査	林　郁博	☎973・3898
	原田昭雄	☎972・0751
体育部長	菊本弘志	☎973・1938
体育副部長	原田美佐子	☎972・0751
衛生部長	原田孝次	☎972・7605
福祉部長	重富勘市	☎972・5622
消防組頭	国重正悟	☎972・3463
消防副組頭	杉山　均	☎972・7805
民生委員	末広玲子（岩屋）	☎972・3491
宮総代	佐々木仙友	☎973・3963
老人会長	佐々木章	☎972・7802
老人会副会長	石田勝子	☎972・4720
老人会副会長	重富勘市	☎972・5622
交通委員	田良宜充	☎973・2222
	黒瀬秀俊	☎972・3240
子供会長	末田和宏	☎972・3562
子供会副会長	佐々木康弘	☎972・7857
踊推進員	林マツエ	☎972・3620
母子保健推進員	佐々木彰子	☎972・7857
福祉募金員	原田悦子	☎972・7801
墓地管理人	原田茂樹	☎973・3091
防犯連絡員	黒瀬和美	☎972・5819

班	長	
1班	藤田　貢	☎972・7171
2班	松井和政	☎972・7808
3班	国重正悟	☎972・3463
4班	原田茂樹	☎973・3091
5班	重冨久仁子	☎972・7603
6班	天上隆夫	☎972・3563
7班	生田智洋	

公民館花嫁さん「リボンの会」

平成6年に八方原地区の公民館が建て替わりました。古い公民館も思い出の多い建物でした。中でも公民館で結婚式を挙げたご夫婦にとっては特別な思いがあったに違いありません。


リボンを髪に特別な気持ちで楽しい懇親会

古い公民館が取り壊されることが決まった時に、公民館で結婚式を挙げた女性の集まりが自然に生まれました。

会の名前は「リボンの会」、年に一度の懇親会には必ず髪にリボンを付けて集まることになっています。

今年は3月16日に公民館で行われました。参加者は12名、昔話にあるいはうわさ話に花が咲きます。お弁当と飲み物、楽しい語らいの時間です。「会場が狭くて、友達も呼べなかった」「別の会場でもう一度披露宴をしたよ」そういう時代もあったのですね。その当時の各家庭と地域との強い結びつき、今とは少し違います。

◇◇◇